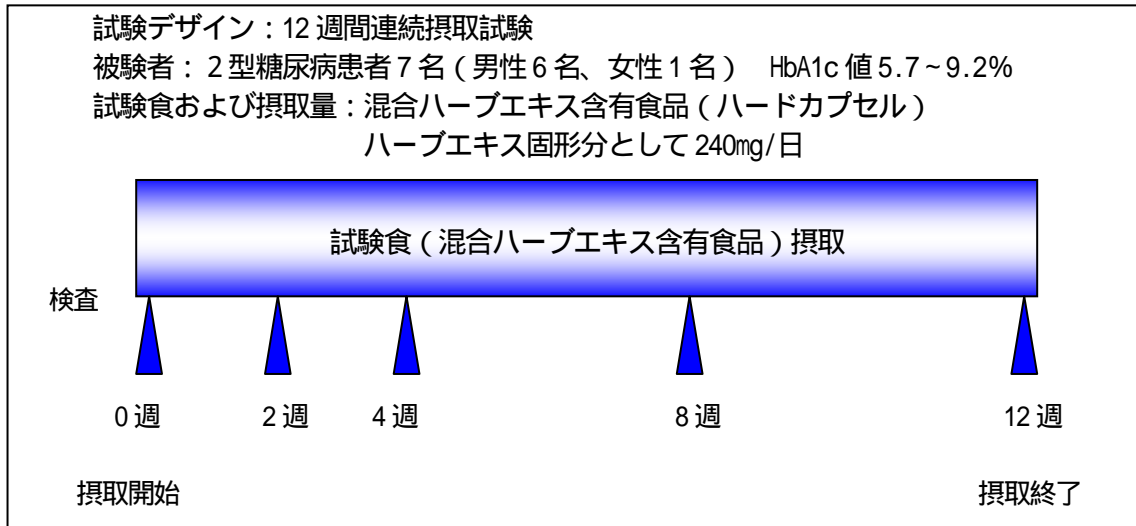


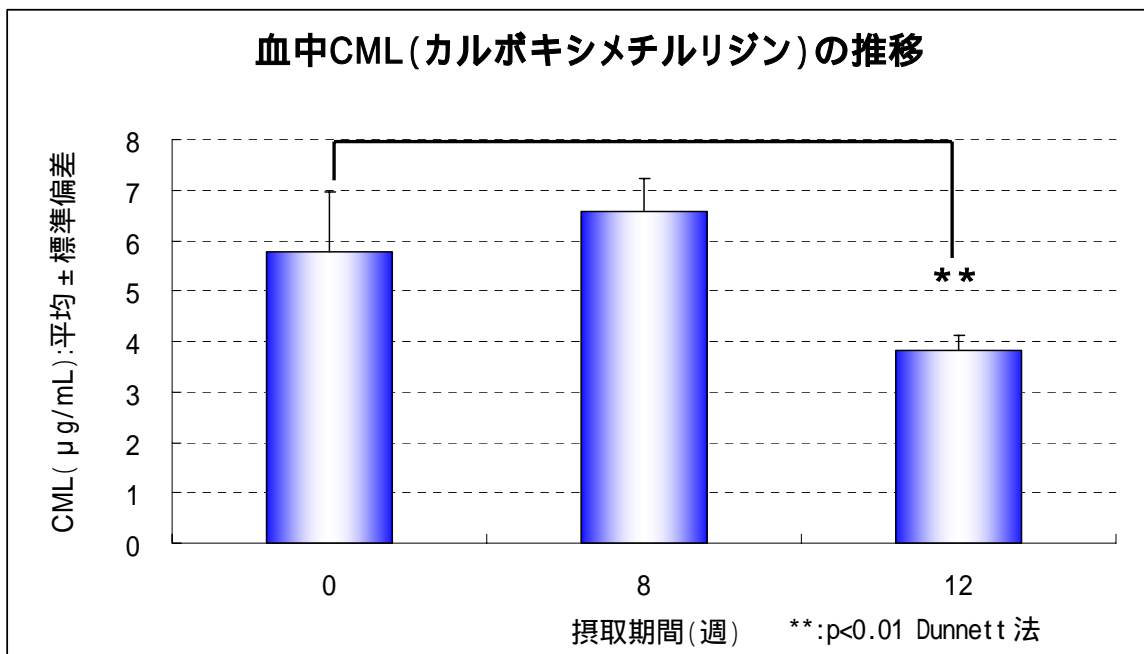
混合ハーブエキスのヒト試験研究内容

方法



結果

1) 最終糖化生成物 (AGEs)

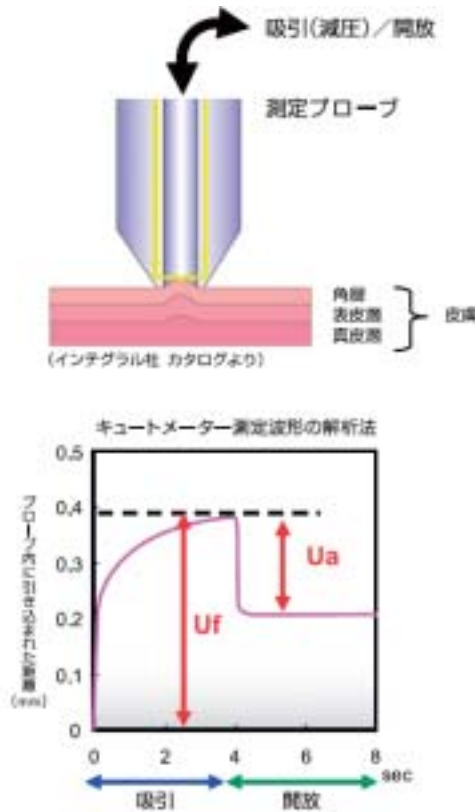


CML(カルボキシメチルリジン)^{#)}の血中濃度が12週目に統計学的に有意に減少した。

^{#)}:メイラード反応経路の最終生成物(AGEs)の1つ

2) 皮膚弾力

皮膚弾力測定方法



測定装置：

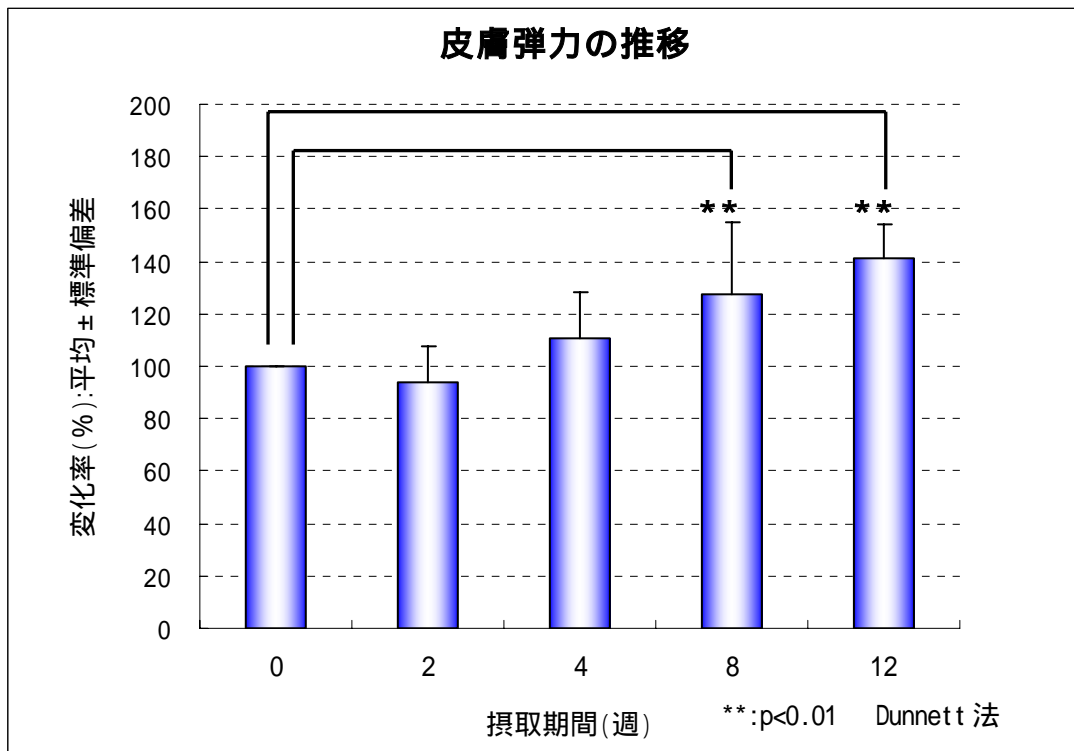
キュートメーター (CK 社製)

測定部位：

上腕内側

評価方法：

皮膚の伸展・退縮後の皮膚の高さ復元率 ($R2=U_a/U_f$) を求め、その変化率で評価した。



皮膚弾力の変化率が、8週目、12週目において統計学的に有意に増加した。

語句説明

1)メイラード反応

加齢や糖尿病の進行に伴って起こる糖とタンパク質との化学反応（糖化）の一つで、近年老化危険因子のひとつとしても考えられています。

2)最終糖化生成物（AGEs）

メイラード反応により生じる最終糖化生成物の総称で、多種類が同定されており、糖尿病患者など生活習慣病を有する人では健常者に比べ、蓄積が進んでいるといわれています。

3)イソプラスタン

細胞膜やリポ蛋白に含まれるリン脂質が過酸化反応により形成されるプロスタグランジン様の化合物で、生体内における酸化ストレス（脂質酸化）マーカーの一つです。

4) DHEA-s

副腎由来の一群のステロイドホルモンの一つで、20歳以降加齢と共に減少し、老化の指標の一つにあげられています。

5) 社団法人日本薬学会 (<http://www.pharm.or.jp/>)

日本薬学会は明治13年（1880年）に我が国では最も古い学会の一つとして誕生した「くすり」に関する研究者や技術者が、学術上の情報交換を行い、学術文化の発展を目的とする学術団体です。新しい医薬品の開発・製造・安定性の確認、臨床への供給など薬を使ってさまざまな病気を克服するという目的のもと、2万人を超える会員の情報源として機能しています。